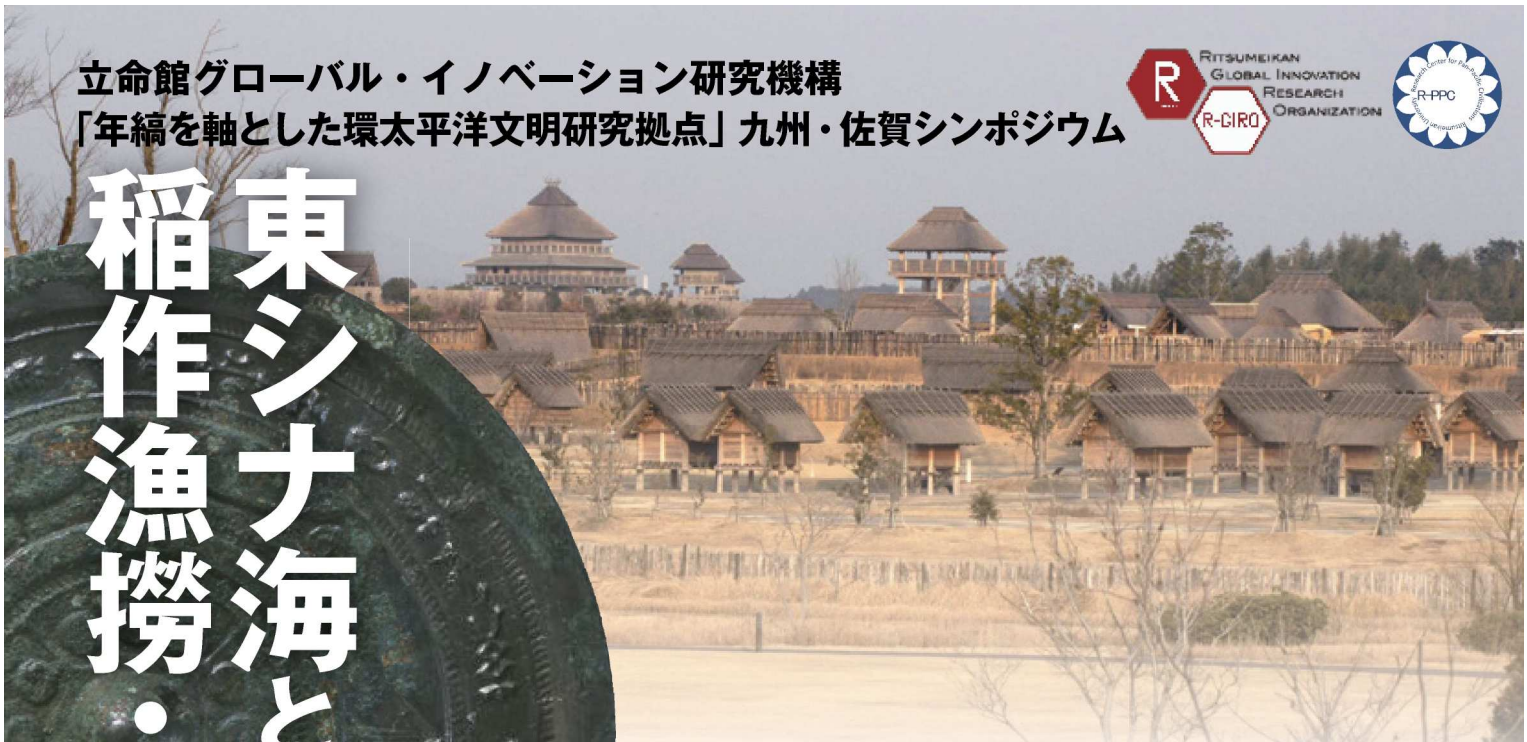


東シナ海と 稲作漁撈・弥生文化



日程

2016年1月9日(土)・10日(日)

会場

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目2-11とんどんどの森内 Tel 0952-26-0011 Fax 0952-25-5591
※アクセス方法は裏面をご覧ください。

お問い合わせ

立命館大学 衣笠リサーチオフィス 〒603-8577
環太平洋文明研究センター事務局 京都市北区等持院北町56-1
Tel 075-466-3335 Fax 075-465-8342 E-mail r-ppc@st.ritsumeikai.ac.jp

参加無料

先着順

事前申込不要

定員
300名

裏面の参加確認書をご記入の上、当日会場受付にてお渡しください。

※参加多数の場合は、会場定員に達した時点で受付を締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

1月9日(土) 10:00~17:30 (開場 9:30)

司会/全体進行 矢野 健一 (立命館大学文学部教授)

- 10:00~10:10 開会挨拶 安田 喜憲 (立命館大学環太平洋文明研究センター長)
- 10:10~10:55 講演① 稲作の伝播と菜畑遺跡
田島 龍太 (公益財団法人唐津市文化事業団唐津市末盧館長)
- 10:55~11:40 講演② 佐賀の弥生人の系譜と東アジアのなかで
分部 哲秋 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科准教授)
- 11:40~12:25 講演③ 奴国(玄界灘沿岸)と東アジア
常松 幹雄 (福岡市埋蔵文化財調査課長)
- 12:25~13:25 昼 食
- 13:25~14:10 講演④ 佐賀の弥生文化にみる中国の文化要素
七田 忠昭 (佐賀城本丸歴史館長)
- 14:10~14:55 講演⑤ 日向と東アジア
藤木 聡 (宮崎県立西都原考古博物館学芸員)
- 14:55~15:15 休 憩
- 15:15~16:00 講演⑥ 中国(秦漢三国時代)と日本の集落と都市
徐 光輝 (龍谷大学国際学部教授)
- 16:00~16:45 講演⑦ 稲作をめぐる生業活動と環境利用
藤永 豪 (佐賀大学文化教育学部准教授)
- 16:45~17:30 講演⑧ 過去から現在・未来の東アジアについて
金子 晋右 (佐賀大学経済学部教授)

1月10日(日) 13:00~17:30 (開場 12:30)

司会/全体進行 矢野 健一 (立命館大学文学部教授)

- 13:00~13:10 ご挨拶 岸本 吉生 (経済産業省九州経済産業局長)
- 13:10~13:55 基調講演① 「日本神話と雲南の神話」
欠端 實 (麗澤大学名誉教授)
- 13:55~14:30 基調講演② 「九州の伝統菓子と長江文明」
村岡 安廣 (株式会社村岡総本舗代表取締役社長)
- 14:30~15:00 基調講演③ 「長江文明は日向に來た」
安田 喜憲 (立命館大学環太平洋文明研究センター長)
- 15:00~15:20 休 憩
- 15:20~17:20 パネルディスカッション「九州と長江文明」
司会 岸本 吉生 (経済産業省九州経済産業局長)

パネリスト ※50音順

- 石丸 純子 (株式会社ジェビック代表取締役)
- 七田 忠昭 (佐賀城本丸歴史館長)
- 高宮 広土 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター教授)
- 橋本 達也 (鹿児島大学総合研究博物館准教授)
- 松下 孝幸 (土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム名誉館長)

17:20~17:30 閉会挨拶 渡辺 公三 (学校法人立命館副総長)

主催：立命館大学環太平洋文明研究センター

協賛：立命館グローバル・イノベーション研究機構「年縞を軸とした環太平洋文明研究拠点」

後援：佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀市教育委員会、吉野ヶ里公園管理センター、NHK佐賀放送局、サガテレビ、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、朝日新聞社、佐賀新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、佐賀銀行、佐賀共栄銀行、佐賀県有明海漁業協同組合、村岡総本舗、村岡屋 ※順不同、敬称略

■ 開催趣旨 ■

環太平洋文明研究センターは、環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の環境と文明の興亡を解明することを目的に、2013年、立命館大学衣笠キャンパス内に設置されました。また、立命館大学では、立命館グローバル・イノベーション研究機構（R-GIRO）において、「年稿を軸とした環太平洋文明研究拠点」に向けた取り組みを、2013年度より当研究センターを中心に行なっております。

今般、佐賀県佐賀市において、「年稿を軸とした環太平洋文明拠点」の活動の一環として、「東シナ海と稲作漁撈・弥生文化」をテーマに、シンポジウムを開催することとなりました。吉野ヶ里遺跡を有する佐賀の地で、東アジアとの海上交流と九州を中心とした弥生時代の文明との関係について、多くの市民の方々にもご参加いただき、研究を深めたい所存です。

▼下記ご記入の上、当日会場にご持参ください。本紙は受付にて回収いたします。

東シナ海と稲作漁撈・弥生文化 参加確認書

ふりがな お名前		様
ご所属・お役職		
ご住所		
T e l		
F a x		
E - m a i l	@	
シンポジウム <small>※参加日にチェックをお願いします。</small>	<input type="checkbox"/> 2016年1月9日（土）・2016年1月10日（日）の両日 <input type="checkbox"/> 2016年1月9日（土）のみ <input type="checkbox"/> 2016年1月10日（日）のみ	

※お申し込みいただいた方には、今後、立命館大学環太平洋文明研究センターの開催イベントのご案内をさせていただくことがあります。

アバンセへのアクセス方法



公共交通機関でお越しの方

- ▶ JR佐賀駅から徒歩で10分
- ▶ JR佐賀駅からバスで
佐賀駅バスセンター2番乗り場から行先番号58番「中折・クレオパーク鍋島線」
又は59番「鍋島駅・医療センター線」行き（約5分）「どん3の森前」バス停で下車

車でお越しの方

- ▶ 佐賀大和インターチェンジから車で
国道263号線を佐賀市街方面へ5キロ
「機動隊前」交差点を右カーブして道なり
「神野東一丁目」交差点を右折
「どんどんの森」周回道路

※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。